

## 第15回 日本在宅医学会大会 プログラム別 詳細情報

カテゴリー	ランチョンセミナー
共 催	帝人在宅医療株式会社
タイトル	在宅の肺炎患者に対する訪問呼吸リハビリテーションの取り組み
日 時	平成 25 年 3 月 30 日 12 : 10~13 : 10
会 場	多目的室
演 者	須藤内科クリニック リハビリテーション科 科長 理学療法士 中田隆文先生
座 長	放射線第一病院 リハビリテーション科 部長 谷口千明 先生
企画趣旨	<p>呼吸リハは慢性、および急性の呼吸障害に対して実施される。対象となる慢性疾患は COPD や肺線維症などが示されており、急性疾患としては肺炎、無気肺、周術期の呼吸障害などが示されている。効果は気道内分泌物の移動、無気肺の改善、呼吸困難の軽減、日常生活の改善などである。肺炎では早期からの介入が必要であり、気道のクリアランス、呼吸困難の軽減、低活動による身体機能低下の予防、特に高齢者では早期離床と ADL 改善を図る。呼吸リハは専門医療機関で実施されてきたが、公的介護保険制度の導入もあり、地域へと移行しつつある。在宅支援診療所（病院）は 365 日 24 時間体制で地域医療を支援する診療所であり、その中には在宅で急変した患者に対して在宅療養を維持しつつ診療する診療所（病院）もある。在宅支援診療所の活動は、在宅で急変や増悪した患者を、在宅にて状態を維持、改善しうる可能性を持ち、そのためには在宅医に関わる専門医療職がチームとして有効に活動することが必要である。当院の活動する地域では在宅医療チーム「チームもりおか」があり、複数の事業所の他職種による医療チームが構成されている。</p> <p>訪問リハは通常、安定した状態の患者が対象となるが、慢性呼吸器疾患患者には増悪イベントがあることが示されており、脳血管疾患後遺症患者や神経筋疾患患者、高齢で姿勢不良の患者などで誤嚥により急変する患者が経験される。当院は呼吸障害患者を中心に訪問リハを行っているが、対象患者の基礎疾患は中枢神経疾患が多く、急変例もある。医師を中心とした在宅医療チームの一員として呼吸リハを実施し、慢性呼吸器疾患患者、在宅呼吸療法患者、神経難病患者の在宅療養、高齢者を中心とした急性期在宅呼吸管理などの支援を行っている。本セミナーでは「チームもりおか」の一員として、在宅で発症した肺炎患者に対する訪問リハの取り組みを紹介する。</p>